

大久野島ビジターセンター便り

Vol.56 (H23.10.1)

夏に大合唱していたセミたちの声も少なくなり、少しずつ コオロギやスズムシたちの声に変わってきています。日中に吹く風も涼しくなり、秋まっさかりとなってきました。

島では、秋を代表する花 “ヒガンバナ”が満開を迎えています。一輪でも、とても見応えのある花ですが、群生している場所では、真っ赤な絨毯をひいたように一面に咲いていますので すごく見応えがあります。島外でも なかなか お目にかかれないうぐらの群生地となっていますので、スタッフおすすめの場所です！大久野島にお越しの際には、島中を散策して、是非、ヒガンバナの群生地を探してみてくださいね！

今回は、ヒガンバナの群生地の様子や大久野島の秋の風景をご紹介します。

大久野島の秋の風景



【ヒガンバナの群生地にて (2011.10.1)】

・ちょうど見ごろを迎えた ヒガンバナは、太陽の光に照らされて レッドカーペットのようです。これだけ群生している場所は島以外でも めずらしいかも？
(見ごろ… 10月6日ぐらいまで)

【落ち葉を食べる アナウサギ (2011.10.1)】

・島のウサギたちは、落ち葉も食べます。きびしい自然の中で生きていくので、ぜいたく は いってられません！！



【高積雲 (2011.10.1)】

・秋の空！といえば、私は真っ先に うろこ雲(巻積雲 …けんせきうん)やひつじ雲(高積雲 …こうせきうん)を思い浮かべます。

・この日は、写真のような ひつじ雲がでていました。うろこ雲とひつじ雲の違いは、雲片の大きさで見分けることができます。

☆見分けかたは、ビジターセンターで！

※写真右 … 撮影しているとウサギたちが！
島ならではの風景です。



大久野島のウサギ作品展

大久野島ビジターセンターでは、平成23年9月17日(土)～平成24年1月31日(火)まで「特別展示 大久野島のウサギ作品展」を館内レクチャールームで行います。

大久野島には、野生化して暮らすアナウサギが島内全域に生息しています。1971年に(忠海の)小学校で飼いきれなくなった8羽を島に放したのがきっかけとされていて、現在では250羽以上が暮らしています。この作品展では、下記のことを皆さんに知っていただくために、ウサギ有志のみなさま、来館者のみなさまのご協力で毎年開催させていただいております。

素敵な作品が勢ぞろいですので、島にお越しの際にはぜひお立ち寄りください！

ウサギたちからのお願い

マナー① … 追いかけてまわしたり、抱っこしたりしないで！

マナー② … 島にウサギを捨てないで！（期間中の9月20日～26日は動物愛護週間です）

マナー③ … ゴミやタバコのポイ捨てをしないで！

☆ 島のウサギたちや動植物たち、そして私たち人間 みんなが、島で楽しく過ごせるように、この作品展を通じて 自分たちに出来ることは何かを一緒に考えていきましょう！



大久野島のウサギ作品展

期間 平成23年9月17日 ～ 平成24年1月31日

会場 大久野島ビジターセンター
レクチャールーム内

入館料 無料(水曜休館, 1～2月は水,木曜日 休館)

ご協力	プロカメラマン	中村 隆之さん, 磨矢さん
	動物写真家	福田 幸広さん
	アマチュア写真家	10名
	羊毛フェルト作家	高瀬 晴美さん
	ぬいぐるみ作家	石原 路子さん
	イラスト	鎌倉 朋子さん



活動報告

瀬戸内海の自然・歴史・文化を訪ねるエコツアーを大久野島ビジターセンター、休暇村大久野島 主催の行事として行いました。第15回目の今回は、瀬戸内海国立公園のクルージング体験とすき網体験(尾道市瀬戸田町 高根島)を行いました。

今回は、夏休み期間中ということもあり、ご家族でのご参加が多く、子供たちのパワーいっぱいのエコツアーとなりました。お天気にも恵まれ、クルージング、生き物採集、すき網体験 など をしていただき「初めてのすき網が楽しかった!」「国立公園にもたくさん行ってみたいくなった!」という声をいただくことができました。たくさんの体験を通じて、瀬戸内の自然や歴史、食文化など 学んでいただけたことと思います。みなさん、お疲れ様でした!

また、このたびも、講師、地元のみなさまのご協力のもと、無事に終了することができました。どうもありがとうございました。



榑自然保護官による 開会あいさつ



クルージング体験

※大高下 AR 撮影



国立公園の解説(大高下 AR)



高根島の自然解説 (講師:中田さん)



海辺のいきもの 採集



スナガニについて解説



すき網体験



いきもの観察



試食



いきもの 観察終了後

~~~~~ワンポイント図鑑~~~~~



## スナガニ

- ・きれいな砂浜に 深さ20センチぐらいの巣穴をほって、すんでいます。視力がとてもよいカニさんです。
- ・自然海岸の埋め立てなどによって、数が減ってきています。



## ハオコゼ

- ・アマモ場にたくさんすんでいます。背びれ、腹びれ、尻びれのトゲに毒があり、刺されるととっても痛いです。
- ・食用には(ほとんど)しませんが、今回は素揚げにして おいしくいただきました。



## イカの卵

- ・15センチぐらいの透明の袋が、たくさんアマモにくっついて 房になっていました。
- ・アマモ場は、イカたちにとっての産卵場所となっています。



## タツノオトシゴ

- ・しっぽのような部分(尾びれが退化したもの)でアマモに巻きつき、一生をアマモ場で過ごします。
- ・みんな興味深々で観察していました。



## イギス豆腐, トコロテン

- ・イギス豆腐 … 海藻の「イギス」を煮溶かして、自然に固めたもので、昔から瀬戸内海ではよく食べられています。
- ・トコロテン … 海藻の「テングサ」を真水につけて、天日で干すという作業を繰り返し、色ぬきをして、煮溶かして作ります。



## アマモ

・海の草で、海底の砂の中に、根と茎をはわせて育っています。アマモがジャングルのようにしげっている場所は、「アマモ場」とよばれ、そこは、たくさんの生き物たちの住み家や産卵場所になっています。

・近年、アマモ場は 埋め立てや汚染などによって、減少しています。

- エコツアーで 出会った生き物たちが、いつまでも 瀬戸内海で暮らしていけるように、生き物たちの住み家や産卵場所となっているアマモ場が育ちやすい環境を大切にしていましょう！

## 記念写真



日にち 平成23年 8月28日

天候 晴れ

講師 中田 雄三さん,佳子さん

協力 地元のみなさん

行程 9:30 受付  
10:00 クルージング体験  
12:00 昼食  
13:00 いきもの観察  
オリエンテーション  
14:10 いきもの採集  
15:00 すき網体験  
16:00 いきもの観察と試食  
17:50 瀬戸田港 発  
18:30 忠海港解散

大久野島ビジターセンター便り vol.56 H23.10.1 発行

発行・編集：大久野島ビジターセンター

〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島

電話・FAX：(0846) 26-0100

開館：9:00～16:00 休館日：水曜日（1-2月は水・木）

お問い合わせなどはこちらまで 担当：馬場